

b. 知人・友人への北方領土問題への伝え方

わかりやすい言葉、正しい知識を伝える

- ・ 視察中に SNS で情報を発信しても、言葉が難しくて関心がもたれない、北方領土と聞いただけで敬遠される、というのが現状。写真や漁場の話も伝えることで、関心に繋がる要素を提供していく必要性があげられた。
- ・ 一方で、解決の難しい問題だし、友人知人にとっては依然距離のある問題であることに変わりはなく、意味を説明するのは非常に難しいとも捉えられている。

Facebook などの SNS で自分の体験を拡散する

- ・ Facebook、LINE などを用いて、自分の体験を伝えることが第一歩と捉えられた。

< 発言内容 >

| | | |
|---|--------------------------|--|
| 1 | A: 女性/23 歳/学生/福岡県 | 既に SNS を使って友人、知人に発信しているが、言葉が難しくなってしまう、あまり関心を持たれない。条約とかは言葉を聞いたことがあると思うので、そこから詳しく説明して、発信していきたい。Web ページに写真を入れてわかりやすくしていければと思っている。 |
| 2 | B: 男性/23 歳/学生/岩手県 | 友人や知人に説明しても、関心がない人がほとんどだと思うので、まずは日本固有の領土であると、歴史の部分をかきんと正しい知識を説明する。あとは自分がこういう風になったんだよというのを伝える。 自分で何かするのは難しいかもしれないが、ブログをやっているので視察の様子をとりあえず取り上げようと思う。将来はあまり関われないというか、そこまではあまり思っていないが、関心はこれからも持ち続けようと思う。 |
| 3 | C: 男性/37 歳/会社員/茨城県 | 政府側の意見としては、今後も政治的な話で日本とロシア、四島近辺の豊富な水産資源、海洋資源をどのように取り合っていくかという問題もあるし、今回の経験を友人知人に説明するのは難しいと思う。民間の話にしてもビザなし交流のコミュニケーションというのはなかなか一言で説明できない。でも、今回の経験を元に友人知人に説明して、まずは興味を持ってもらいたい。Facebook、LINE を用いてなるべく多くの人にこの経験を広めていきたいと思っている。 |
| 4 | D: 男性/31 歳/会社員/京都府 | どう伝えたらいいかは、どうしても北方領土という皆敬遠すると思うので、まず根室のお土産をばらまいて、そのアピールから始める。根室行ってきた、何しに行ってきた？というところから話ができると思う。僕はまず明日帰ったらお土産をばらまく。 また根室に来たい。夏、花が咲いているときに、レンタカーでドライブしながら、今日まわったようなところをまわったり、おいしいものを食べたりしたい。そういう取組からまた SNS で発信できるし人にも話してもできる。 |
| 5 | E: 女性/34 歳/パート・アルバイト/福井県 | 友人知人には、どのように説明しようか考えている。ここに来る前に、北方領土に行くと言ったら、すごいな、何しに行くの？と言われた。私もよくわからなかったが、学んだことを、興味を持った人に聞かせてあげたい。 LINE に鹿をアップしたら、北海道にいるの？と聞かれたりしたので、帰ったら子どもたちにいろいろな写真を見せたい。子どもは保育園とかでしゃべってくれるので、そういうのを生かしていけたらいいなと思っている。 |
| 6 | F: 女性/30 歳/パート・アルバイト/愛知県 | 旅行が好きで、友人からも、最近はどこに行ったの？と聞かれることが多い。今回もきっと聞かれると思うので、どういうところに行って、どういうものを見て、どういうものを食べたよと教えてあげたい。難しいことはわからないので、まず行ったことを話そうと思う。話すことが、私が唯一できること。友達にも、こういうところにはこういうものがあつたよと伝えることが、私の唯一できることかなと思っている。 |
| 7 | G: 女性/27 歳/専業主婦/大阪府 | 来る前には、友人に「北方領土に行くね」くらいしか言っていないので、会ったときに写メを見せて、歴史的背景も伝えながら、北方領土に少しでも関心を持ってもらえたらと思う。 私には伝えることしかできないかなと、今は思っている。 |
| 8 | H: 男性/35 歳/会社員/滋賀県 | 友人知人には、北方領土問題が解決したら、これだけ得するよとか、もっとおいしいお魚が食べられるよとか、得することを説明していきたい。そうなんだと納得できるような説明ができればと思う。 僕はひとりでも旅行するが、根室に行こう！と言って友人を誘って現状を知ってもらおうということをやってみようと思った。 |
| 9 | I: 男性/38 歳/パート・アルバイト/東京都 | 友人知人にどうやって広めていこうと言われてもそんなに観光スポットはないので、自分で見たこと感じたことを伝えるしかない。一番東に行ってみようとか、吹雪いている時期に行ってみようという感じで誘ってみるのがいいのかなと思う。 自分でできそうな取組に関しては、実はこれ北方領土の近くで買ったんだと伝えることが一番広めやすい。今日で終わらずに、今後もその問題を自分なりにアレンジして、人に伝えていくのが自分の役目なのかなと思う。 |

c.情報発信で効果的と思うテーマ

- ・ 情報発信で効果的なテーマとしては、多くの対象者から、日本の領土であるという根拠となる事実、ロシアに不法占拠されているという事実、北方領土に居住するロシア人との交流活動(ビザなし交流等)、エリカちゃんが挙げられた。
- ・ その他、北方領土に関連する歴史的事実(日露通好条約など)やロシア側の見解(主張)元島民の話、当時の島民の暮らしなど、いずれも自らが今回の視察調査を通じて、理解が深まった要素が中心となっている。

<効果的と思うテーマ>

| 対象者 | 情報発信で効果的と思うテーマ |
|-----------------------------|---|
| 1 A:女性/23歳/学生/福岡県 | ① あまり知られていない現状や最近の出来事。島の名前等しか知らないと思うので、こんなことをしたらこうなってしまうというのを。 ② 現在行われている取組。既に Twitter のアカウントなどあるみたいですが、もっとみんなに知ってもらえるように具体的に書く。 ③ 島の大きさなど。どうでもいいと思いますが、へえ…ってということから少しずつ興味を抱くと思いました。 ④ 歴史の一部を紹介。言葉や年号は知っているが、より詳しいことを話して、関連があったのかと興味を持たせる。 |
| 2 B:男性/23歳/学生/岩手県 | ① 北方領土は昔から現在まで変わらずに日本の領土であること。 ② 旧ソ連軍が占拠(不法に)したこと。 ③ 若い世代を中心に、日本と北方領土とで、相互文化交流が行われていること。 ④ 戦時中まで普通の生活があり、そこに住んでいた人々が根室で暮らし、今でも故郷に帰ることを望んでいること。 |
| 3 C:男性/37歳/会社員/茨城県 | ① ロシアによる不当な占拠 ② ビザなし交流や、四島島民との異文化交流 ③ エリカちゃんを用いたマスコミ活動 |
| 4 D:男性/31歳/会社員/京都府 | ① せっかくエリカちゃんというゆるキャラが誕生しているので、エリカちゃんが教えるという設定での北方領土問題の解説 ② 多くの国民が第二次大戦に負けたので占領されたと思っているかもしれないので、ロシアが9月2日を戦勝記念日に制定して自らを正当化しようとしていることを大々的にアピールする ③ もう少し交通(主に飛行機)の便を良くして、多くの人々が気軽にこの地へ訪れることのできる環境 ④ 実はリゾート地としても人気になるかもしれない択捉島をはじめ、四島の四季をアピールし、日本固有の領土であると発信する |
| 5 E:女性/34歳/パート・アルバイト/福井県 | ① 元島民の方の話 ② エリカちゃんのアピール ③ 日本の領土だということ ④ ロシアは不法占拠しているということ |
| 6 F:女性/30歳/パート・アルバイト/愛知県 | ① Facebook や Twitter など SNS へ投稿 ② テレビ CM ③ 飲食店でも限定メニュー(特産物の使用)の販売 ④ 物産展で特産物を販売 |
| 7 G:女性/27歳/専業主婦/大阪府 | 「北方領土問題」と聞き、難しく感じるかもしれません。日露通好条約、～条約など、歴史から北方領土につなげた方が入りやすいかも。 |
| 8 H:男性/35歳/会社員/滋賀県 | ① 日本の領土だという根拠を示した要素 ② ロシア語での主張 ③ 北方領土の日等だけではなく、定期的にメディアに発信する ④ 他国にもアピールする |

<印象に残った点>

| | | 1 日目 | |
|-----|--|---|--|
| 対象者 | 印象に残ったもの | 理由 | |
| 1 | A: 女性/23歳/学生/福岡県 別海北方展望塔 | 中に資料が飾ってあり、北方領土について、とても詳しく書かれていた。なので、少しではあるが、北方領土について知識がついたと思う。天気の関係で見れないのは残念でした。 | |
| 2 | B: 男性/23歳/学生/岩手県 別海北方展望塔からの眺め | 国後島は見えなかったが、野付半島を眺めることができ、雄大な風景を見ることができたから。 | |
| | 別海北方展望塔内のパネル | この道の駅に来れば、北方領土の概要や歴史を知ることができ、手軽さが観光客を呼び込みことができると思ったから。 | |
| | 別海展望塔内の署名名簿 | 継続的な署名運動を行っていることが分かった。ただ、紙がしわだらけで、名前が埋まるのに時間がかかっていることがうかがえた。 | |
| 3 | C: 男性/37歳/会社員/茨城県 叫びの像 | 不当な理由により島を占拠された家族の叫ぶ姿を表現している点。印象的だが、無力感も同時に感じた。 | |
| | 別海北方展望塔 3F の展示写真 | 日本とロシアの交流が行われている様子が映っており、本調査に参加する以前までは知りえなかった光景であった。また、展示品の中には、ロシア語の表記のお菓子やマトリョーシカがあり、日本とロシアの文化交流を望む姿勢が感じ取れた。 | |
| 4 | D: 男性/31歳/会社員/京都府 別海北方展望塔 | 北方領土(国後島)との距離の近さ、肉眼で確認できるほどの近さなのに、自由に足を踏み入れることができない不思議さやもどかしさをあらためて痛感した。 | |
| | 別海北方展望塔内のパネル | 北方領土の今日までのいきさつをしっかりと知ることができ、単純なことかもしれないが、島が沖縄より大きいということを初めて知ることができた。 | |
| | 叫びの像 | 迫力があり、鬼気迫る像なのは確かだが、今の日本国内の流れからは、このように迫力のある像を運動のシンボルにすることには、少し抵抗があるかもしれないと思った。 | |
| 5 | E: 女性/34歳/パート・アルバイト/福井県 別海北方展望塔 視察 | すごい近いところに見えていて、けど目では見えなくて不思議でした。昔の写真などがあって、ロシアの人との交流もあったりして、どんな関係なのか興味出てきました。 | |
| | バスの中でのビデオ | 昔は 17,000 人の人が住んでいて、強制的に日本に帰らされたと聞いて、なんでだろう、日本のものだったのに不法占拠しているなんてありえないと思いました。 | |
| 6 | F: 女性/30歳/パート・アルバイト/愛知県 叫びの像 | 雪で近くまで行けませんでした。観た瞬間、恐怖を感じました、怒りと悲しみと寂しさが混ざったような複雑な気持ちになりました。 | |
| | 別海北方展望塔 | 3階の展望室では、直接島を見ることができ、より身近に感じることができる場所だと思いました。残念ながら、今日は天気が良くなり見れませんが、知識のない私でも、実際に自分の目で見るという行動が、北方領土に関する意識を高められ、とても良い経験でした。目立った動きも見られず、静かで、どこか寂しい感じがしました。 | |
| 7 | G: 女性/27歳/専業主婦/大阪府 別海北方展望塔の展示パネルにかいていた、ポツダム宣言後、ソ連軍が北方領土を占領していったというところ | こういうことがあり、占領されていったということを知りませんでした。占領されたことで、生活を制限され、命がけで逃げた人も…。樺太に強制送還された後も、想像以上で驚きました。バスの中でのビデオでも、体験された女性の話を聞き、胸が痛くなりました。 | |
| | 別海北方領土の総面積が沖縄本島より大きいこと | 「小さくて遠い島」の印象がありましたが、歯舞群島は近いし、また歯舞群島の中には、貝殻島、水晶島、秋勇留島、勇留島、志発島、多楽島などの島々のことだとは知りませんでした。 | |
| 8 | H: 男性/35歳/会社員/滋賀県 北方展望塔 | パネルで実際の距離感を感じることができた。パネル内の北方四島交流事業を見て、ロシアの人たちと交流を図っていて、仲良さそうな写真が印象に残った。 | |
| | ビデオ鑑賞、クイズ | ぼんやりとした知識が少しははっきりとして良かった。思った以上の島の大きさだったので、いつか行ける日が来ると願います。 | |
| 9 | I: 男性/38歳/パート・アルバイト/東京都 別海北方展望塔 | 天候は晴れていたが、国後島は見れなかった。叫びの像をはじめ、北方領土の歴史を少し勉強できました。 | |
| | バスの中でのビデオ | 北方領土の返還運動の啓発に関心が強くなりました。世代を超えて、現代の学生、政界が地道な活動をしていることに改めて北方領土視察の意味を紐解けました。 | |

II 調査活動

3. 次世代層を対象とした視察調査

| | | 2 日目 | |
|---|-----------------|---|--|
| 対象者 | 印象に残ったもの | 理由 | |
| 1 A: 女性/23 歳/学生/ 福岡県 | 北方館と地元住民の講和 | パネルに道の駅より詳しいことが書かれていたので、より勉強になりました。また、実際に住んでいた方の話を聞くことで、身近に感じられ、考えさせられた。まだ話を聞きたいと思いました。 | |
| | パノラマクルーズ | ぎりぎりの距離で貝殻島の灯台を見れたから。 距離を数字で言われるばかりで、具体的に見れ、知れ、より一層近いというのを感じられた。近くて遠いというのは本当だなと思った。 | |
| | 地元住民との交流会 | 10名の方々との食事をしながらの交流だったので、気軽に話を聞いた。高校生なのに、とてもしっかりしていて、大人顔負けの意見や知識を話してくれました。将来も携わりたいたいのに驚いた。 | |
| | 納沙布岬 | 日本で最東端の場所であり、水島島と一番近い。北方館でもだが、大体のものが見え、近さを実感させられた。ここでも近くて遠い、北方領土というのを実感させられました。 | |
| 2 B: 男性/23 歳/学生/ 岩手県 | 北方館での元島民の方との交流会 | TVや教科書で見たことのほかに、サハリンへ運ばれる際に荷物の上に人が乗せられたことなど、詳しい話を聞くことができたから。 | |
| | 納沙布岬周辺の視察 | 自分が立っていたところから、国後島や歯舞群島を見ることができた。また、国旗やあらゆるところで北方領土返還へのメッセージがあったから。 | |
| | 北方館内の展示物 | 昨日までに知っていた知識に加え、館長さんからのお話やパネルで、島民の生活の様子が分かった。動物の存在もあり、北方領土が奪われたことで、失ったものが多いと感じたから。 | |
| | 本土最東端クルーズ | 納沙布岬から眺めたものよりも身近に感じた。日本の中でも国境(ほんとは違うが…)を感じる事ができた。穏やかな風景の中にも、緊張感があると感じた。 | |
| 3 C: 男性/37 歳/会社員 茨城県 | 北方館での講和 | 過去の歴史から現在の交流の様子、そしてロシアが何故、北方領土返還に合意しないのか、それは四島周辺の水産資源の豊富さに起因していることがよく分かった。 | |
| | 元島民の講和 | ソ連の進軍を実際に受けたときの話を聞き、戦争の残酷さを改めて感じた。日本は敗戦国であるが、その歴史を70年経った今でも引きずっている現状をどのように改善すべきか、とても難しい問題だと感じた。 | |
| | 地元住民との交流会意見交換会 | 1日目、2日目で勉強した内容(主に歴史)と、現在の住民の方々の考え方での相違点があることを感じた。これは政治の面と、人としての交流の違いから来ているのでは?と思った。 | |
| 4 D: 男性/31 歳/会社員 京都府 | 北方館・望郷の家 | 昨日訪問した別海北方展望塔とは違ったパネル展示があり、こちらはより島民の方々の生活や苦勞、努力に重点が置いてあった気がして、より深く考えさせられた。 | |
| | 中田さんの講和 | 元島民の方のお話を直接お聞きするという経験は、とても貴重なと思うし、それを受けて私たちがどうすべきかということが重要だと感じた。 | |
| | 北方館・望郷の家 2F 展示室 | 天気が良かったおかげで、昨日よりも国後島や歯舞群島を一望することができ、周辺をロシアの巡視艇が警戒しているのを、肉眼で確認すると、寒さ以上に厳しい海なんだなあと感じた。 | |
| | 本土最東端クルーズ | 波が高く、潮風も非常に強かったが、中間点から貝殻島を自分の目で見る事ができ、大変有意義だった。領土問題は、地元で生活する漁師さんをはじめ、多くの方の未来がかかっているのだと感じた。 | |
| 5 E: 女性/34 歳/パート・ アルバイト 福井県 | 北方館 | 目の前に島が見えて、不思議な感覚でした。すぐ近いのに境界線を決められているということを知り、怖くなりました。 | |
| | 元島民による講和会 | 「私の地元に戻りたい」という強い思いが聞けました。早く、日本のものだから返還してあげてほしいです。 | |
| | エリカちゃんとの記念撮影 | エリカちゃん、すごく可愛かったです。もっと全国に行って、みんなにその存在を知ってほしいなと思いました。 | |
| | パノラマクルーズ | 途中、気分が悪くなり、ラッコとか見えなかったのですが、アザラシは見え、自然がたっぷりなんだなあと思いました。観光でも来たいと思いました。 | |
| 6 F: 女性/30 歳/パート・ アルバイト 愛知県 | 北方館 | 館長さんのお話は参考書を読むより(パンフレットや資料やビデオ上映などより)分かり易く、興味がわき、自ら考えさせられました。 | |
| | 納沙布岬周辺の視察 | 肉眼で海の向こう側に島が見え、こんなに近いんだと改めて実感できました。館長さんの「いつ何か起きてもおかしくない」「もっとも近い場所」と聞き、ドキッとしました。 | |
| | 中田さんのお話 | 実際に島で生まれ、島を知っている方のお話を直接聞け、大変貴重なお話聞けました。資料には載っていない当時の住民の気持ちや現状など、とても興味深かったです。 | |
| | クルーズによる船からの視察 | 北方館の写真で見た、貝殻島の灯台が肉眼で直接見れたことに感激した、向こう側は船が見えたのが少し怖かったです。こんなに近いんだと改めて実感しました。 | |

II 調査活動

3. 次世代層を対象とした視察調査

| | | | |
|---|-------------------------|----------------------|---|
| 7 | G: 女性/27歳/専業主婦/大阪府 | 北方館館長さんの話 | ロシアが北方領土を占領していったのは、まわりの海のためだけだと思っていましたが、それだけではないということがわかりました。歴史的背景もよくわかりました。 |
| | | 実際に北方館からや、クルーズで島を見た時 | 本当に近いなと感じました。国境線には、日本・ロシアの巡視船があると聞き、ビビリした関係が伝わってきました。実際、船に乗りとても寒かったです。ロシアに占領され、苦になった人が逃げ出すこともあったと聞きましたが、波もあるし、この寒さで逃げ出すということが、どれだけ過酷だったろうか、死を覚悟してでも根室に行く「逃げる」大変さを感じました。 |
| | | 地元の方との交流会 | 高校生から話を聞き、意識が高いなど、とても勉強しているなと感じました。高校生がこんなにも頑張っているなんてすごいです。無知だった私が恥ずかしいです。 |
| 8 | H: 男性/35歳/会社員/滋賀県 | 北方館・望郷の家 | 館長のご説明や元島民の講和で北方領土の歴史や経緯を知ることができて良かったです。ソ連が北海道本土を占領しようとしていた説明に驚きました。 |
| | | 北方館・望郷の家 | 自分が生きてる間に北方四島へ行ってみたい気持ちがありましたが、ビザなし交流以外の方法がロシアからしか行けないと聞いて、非常に残念な気持ちになりました。 |
| | | 本土最東端パノラマクルーズ | 実際に中間ライン付近まで行くことができ、近くで貝殻島も見られてよかったです。ラッコや鳥が多く、自然豊かな海域だなと思いました。 |
| | | 交流会 | なかなか地元の人と話をする機会がないので、楽しめました。思っていたよりもロシアの人たちと交流を深めていると知り、安心しました。 |
| 9 | I: 男性/38歳/パート・アルバイト/東京都 | 北方館視察 | 館長の小田嶋さんの話を聞きながら、館内の見学をする。主に、根室半島から見た領土の歴史を語ってくださいました。 |
| | | 納沙布岬の視察 | 天候は快晴。寒さを除けば見晴しい海だった。いたるところに北方領土返還を呼びかけるものがあつた。観光地としては呼びにくい地域だけど、個人の興味次第かも。 |
| | | 齒舞漁港～本土最東端クルーズ | めったに経験できない漁船でのクルージングが本当に貴重だった。普段は拝見できない自然のラッコや海ワシの観察、遠くに覗く水晶島と貝殻島や付近の海を視察。 |
| | | 意見交換の交流会 | 交流会が催された。はじめは緊張したけど、二日目ということもあり、個人的にすごく盛り上がった。 |